

第1回 三重がん・生殖医療研究会セミナー

近年のがん治療成績の向上に伴い、若年がんサバイバーが増加し、治療後の不妊に悩む方も増えております。三重県でも三重大学が中心となり、2017年から若年がん患者を対象とした妊孕性温存療法を開始しました。今回、がん治療の基礎から最新の話題、若年がん患者への妊孕性温存療法について、講演会・症例討論を行い、知識の向上のみならず、多職種との意識の共有・連携等を図ることを目的としてセミナーを開催します。第1回は、「乳癌」をテーマとしました。医師だけではなく、看護師、薬剤師等の多くの医療従事者の参加をお待ちしております。

日時：2018年7月28日（土）

場所：三翠ホール（大ホール・小ホール）

三重県津市江戸橋2丁目174 TEL：059-232-1111（代）

プログラム

- 9:30 ～ 9:35 開会の辞 三重大学医学部附属病院病院長 伊藤正明先生
- 9:35 ～ 9:40 三重県医療保険部 医療政策総括監 挨拶 田丸智巳先生
- 9:40 ～ 10:10 座長：三重大学医学部整形外科学教授 須藤啓広先生
「当院における乳がん診療の概要」 三重大学医学部乳腺外科教授 小川朋子先生
- 10:10～11:10 座長：三重大学病院がんセンター長 中瀬一則先生
「若年者乳がん診療の今日この頃 ―特に妊孕性温存の実践と問題点―」
岐阜大学乳腺外科准教授 二村 学先生
- 11:20～11:50 座長：三重大学医学部小児科学教授 平山雅浩先生
「がん患者の採卵における卵巢刺激法～ランダムスタート法による最短化～」
岐阜大学産婦人科臨床教授 古井辰郎先生
- 12:00～13:50（ランcheonセミナー） 座長：三重大学医学部泌尿器科学教授 杉村芳樹先生
「本邦における、小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状」
聖マリアンナ医科大学産婦人科教授 鈴木 直先生
- 13:00～14:00 座長：三重大学病院薬剤部准教授 岩本卓也先生
「がん生殖医療における薬剤師の可能性」
がん研究センター東病院 薬剤師 米村雅人先生
「もう産めない？まだ産める？～がんと妊孕性のはざままで～」
乳がん経験者 薬剤師 牧野あずみ先生
- 14:00～16:00 症例セミナー 司会：三重大学医学部産科婦人科学教授 池田智明先生
- 16:00～16:10 閉会の辞 三重大学医学部産科婦人科准教授 田畑 務先生

※本セミナーは事前登録制です。詳細は裏面に示してあります。

※本研究会は下記の単位に認定されております。

日本専門医機構 学術業績・診療以外の活動実績(学術集会参加)1単位

日本専門医機構 産婦人科領域講習 1単位

がんプロフェッショナル養成プラン推奨セミナー

三重大学大学院セミナー

日本産科婦人科学会専門医研修会 10単位

日本産婦人科医会研修会

当日は参加費として500円徴収します。

主催：三重がん・生殖医療ネットワーク

共催：あすか製薬株式会社

三重県産婦人科医会

三重大学産科婦人科学教室

三重県病院薬剤師会

三重大学病院がんセンター



第1回 三重がん生殖医療研究会症例セミナー事務局
三重大学医学部産科婦人科学教室
担当 野島 由美乃
連絡先 TEL 059(232)1111 FAX 059(231)5202